

JR 茨木駅西口周辺 まちづくりワークショップ

第6回(最終回) イメージのまとめ

J R 茨木駅西口周辺まちづくりワークショップとは？

現在、茨木市ではJR茨木駅西口駅前周辺の再整備に向け検討しています。皆様の暮らしをより良くするために将来、JR茨木駅西口周辺がどうなれば良いか、駅前でどのように過ごしたいかなど参加者の皆様と一緒に考えるワークショップを開催しました。

開催概要

■開催日時：令和4年9月4日（日）午後2時00分～午後4時00分

■開催場所：茨木市役所南館10階大会議室

■参加者：24名

1. ワークショップ全体の振り返り

第1回～第5回のワークショップの振り返りと、これまでのワークショップにおいて参加者の皆さんからいただいたアイデアのまとめとして、駅前でのシーンのイメージを描いたカットパースについて説明をしました。

■これまでのワークショップで積み重ねてきた内容の振り返り

第1回ワークショップ：ワークショップの目的と進め方

第2回ワークショップ：駅周辺の現状確認や駅前とのつながり

第3回ワークショップ：駅周辺や駅前を実現したいことのアイディア出し

第4回ワークショップ：模型を使って駅前でのアイデアの具体化

第5回ワークショップ：駅前でやってみたいことのシェア



全体の振り返り時の様子

■皆さんのアイデアから整理した駅前のイメージ

参加者の皆さんから、将来の駅前について日常が豊かになるたくさんのアイデアを出していただきました。その内容をもとに、朝、昼、夜といった時間帯も踏まえて6枚のカットパースを作成しました。

このカットパースは、今後基本計画を検討する際に活用していきます。



カットパース①（平日・朝）



カットパース②（平日・昼）



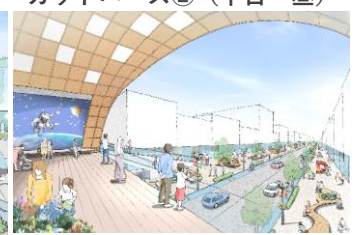
カットパース③（平日・夜）



カットパース④（休日）



カットパース⑤（全時間共通）



カットパース⑥（全時間共通）

※カットパースとは人の活動を中心に情景のイメージを表現したものです。今後の検討を進める際に表現を変更していくことがあります。

2. 駅前で『やってみたいこと』の発表

全体の振り返りを終えた後、これまでのワークショップで皆さんそれぞれが考えてきたアイデアの中から、一番やってみたいと思う内容を選んでいただき、その内容をお一人ずつ発表していただきました。

■発表の流れ



それぞれでアイデア選び・発表内容整理



皆さんからそれぞれ『やってみたいこと』を発表

■発表いただいた内容

働いている方、専業主婦の方や学生さんなど、参加者の皆さんから、駅前で『やってみたいこと』について、様々な発表をしていただきました。また、発表では『やってみたいこと』を実現するために、参加者の皆さんができることも考えていただき、そのアイデアへの関わり方も発表していただきました。



参加者

芝生の上で一人または友人とくつろぎたい。自分がSNS等で調べた茨木市の今後のまちづくりの情報などを、芝生の上で友人に伝えていきたい。

茨木のキービジュアルとなるような風景がほしい。人が自然と集まってくるような並木道が道路の両側にある絵がみたい。そのビジュアルを茨木市のアイコンにしていきたい。



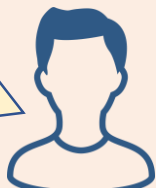
参加者



参加者

駅前の広場で、音楽を発表する機会があると良い。高校の音楽部などに、日々の練習の成果を発表できる場を提供してあげたい。

シェアキッチンの運営をしたい。製造許可を取ったキッチンを経営し、それを皆さんに使っていただき、そこで作ったものをまたどこかで売っていただく、ということをやりたい。



参加者



参加者

JR茨木駅でカフェを利用したい。カフェの選択肢がいろいろあって、その日の気分で選んで利用できると嬉しい。カフェを利用するお客様として、しっかりSNS等を使って発信し、関わっていきたい。

茨木出身のヤノベケンジ先生の作品を置きたい。ヤノベ先生のことを知ってもらうために、講演会をしたり、芸大の先生の工房を訪ねるイベントを計画・実行していきたい。



参加者

・・・他にも沢山の想いを発表いただきました。

3. 総評

参加者の皆さんから発表していただいた後に、総評として、このワークショップのアドバイザーである久先生、ファシリテーターである阿部先生、福岡市長から、これで終わりではなく引き続きまちづくりに関わって欲しい等のコメントをいただきました。

総評の主なコメント



阿部先生から総評

再整備後の話も重要で、出来上がった後にどう使っていくかということが重要です。今日参加していただいている皆さんにはこういった活動に継続的に参加していただき、茨木らしいシンボルとなるような駅前をつかっていただけたらと思います。

『まち育て』という言葉があります。空間が長続きするためには、皆さんが少しずつ手を加えながら自分ができることを持ち寄ってつなげていくことが大切です。このワークショップでのつながりも上手く使ってもらい、皆さんの想いを実現していけたら良いなと思います。



久先生から総評



福岡市長から総評

老若男女、様々な世代の皆さんからいただいたお話は大きな力として、今後様々な取り組みを進めていく中で大きな肥やしにさせていただきます。まちづくりは一朝一夕にできるお話ではありませんので、引き続き皆さんのお力添えをいただけたらと思います。

4. ワークショップのおわりに

最後に参加いただいた皆さんと集合写真を撮り、今回のワークショップを終了しました。



ワークショップにご参加いただきまして、ありがとうございました。